

十二 鑑

発行日 令和 4 年 10 月 15 日 (第 9 5 号)
 発行 土沢地域づくり会議 代表 新田繁夫
 〒028-0115

花巻市東和町安俵 6 区 53 番地
 TEL 0198-42-3255 FAX 0198-42-4234

—— シャキッと菅野さん 県太極拳交流会 ——

—— 最高齢者で表彰される

9 月 11 日 (日) 岩手県武道館で、令和 4 年度県長寿社会健康と福祉のまつり「第 34 回 岩手県民長寿体育祭太極拳交流大会」が開かれ県内の愛好者 19 チーム 225 名が出演。花巻支部からは 18 人が出演し見事な演武を披露。メンバーの一員として出場した 安俵の 菅野 チェさん (84 歳) には最高齢者賞が贈られました。

朗報ですネ。菅野さんは 令和元年に入門、「もうこんな年に…」と謙遜。太極拳の成果でしょうか 姿勢が良くシャキッと。体調も良くて「お勧めですよ」と…PR もうまい。

太極拳ひなの会を当初から指導しているインストラクターの高橋セイ子さんも「仲間思いで先頭を走っていますよ」と、益々の活躍を期待しています。



「太極拳ひなの会」の仲間とともに
 (前列、右が菅野さん)



日本一大きい茅葺屋根に先ずは
 圧倒されて…正法寺

心穏やか… 研修の成果か 歴史講座

9 月 30 日 (金) 歴史講座。22 人参加。日本最大級の茅葺屋根と言われる庄巻の正法寺法堂 (国指定重要文化財)。ぶんぶく茶釜伝説に心が和む。東北一の修行寺として全国各地から修行僧を受け入れる。厳しい修行に定評があり、間もなく訪れる厳寒の修行に気を引き締めていました。

裸の男と炎の祭り…蘇民祭で有名な黒石寺。国の重要文化財薬師如来坐像をはじめ、日光・月光菩薩立像など、多くの仏像が安置され、訪れる人を静かに見守る。前住職の説明に引き込まれ、心が穏やかになったような…。

奥州市埋蔵文化財センターでは、坂上田村麻呂が造営したとされる胆沢城のスケール感に圧倒された。広い広い。

土沢地区の人口と世帯数

令和 4 年 8 月末日現在

行政区	日本人住民						外国人住民			
	世帯数	男	女	計	出生	死亡	世帯数	男	女	計
土沢第 1 (新地・百ノ沢)	129	176	184	360	0	0	0	0	1	1
土沢第 2 (鑑町)	144	144	177	321	0	1	0	0	3	3
土沢第 3 (中町・下町)	154	177	189	366	0	0	8	2	7	9
土沢第 4 (駅前・上町)	175	180	211	391	0	0	8	6	3	9
土沢第 5 (前郷・八日市場)	137	176	192	368	0	1	0	1	0	1
土沢第 9 (六本木)	248	295	334	629	0	0	7	7	1	8
合計	987	1,148	1,287	2,435	0	2	23	16	15	31

※この表は花巻市住民登録人口集計表を参考に作成しています。

飲酒運転4（し）ない運動

管内の飲酒運転検挙者数は大分少なくなつて、ドライバー各位の意識が向上していることの現れと素直に喜ばたい。しかし全国に目を向けると飲酒運転により大事故が起きている。

「秋仕舞」疲れを癒す？ビール…誘惑に負けてはいけません。何より家族を巻き込みます。

くれぐれも

- ① 運転するなら酒を飲まない。
- ② 運転する人に酒を提供しない。
- ③ 酒を飲んだ人に車を提供しない。
- ④ 酒を飲んだ人の車に同乗しない。
…当たり前のことですね。

今年 土沢地区は
交通安全推進モデル地区

木曜日、あなたのご予定は？

太極拳教室 初心者大歓迎

日時：①4年11月17日(木)、②24日(木)
③12月8日(木)、④15日(木)
全4回/毎回10:00~11:30

会場：東和コミュニティセンター

講師：日本武術太極拳連盟公認

A級指導員 花巻市生涯学習講師
高橋セイ子氏

定員：15人

参加費：無料

持ち物：タオル・水分補給の飲み物

その他：会場は土足ですので、運動靴と動きやすい服装で参加のこと。

申込み/詳しくは土沢地域づくり会議にお問い合わせください。

TEL42-3255

ふる歴コーナー

コミセン内に併設されている「ふるさと歴史展示室」から東和の歴史を紹介します。

《展示パネル引用》

東和の民俗芸能

東和地域には多くの民俗芸能が伝わり、人々の生活と密接に関わりながら伝承されてきました。種類も多岐にわたり、神楽、太神楽、鹿踊、人形歌舞伎、サンサ踊、かながら獅子踊、田植え踊、盆踊りなどが知られています。

先ずは岩手県無形民俗文化財に指定されている石鳩岡神楽から…

はやちねたけりゅう

早池峰岳流

いしはとおかかぐら

石鳩岡神楽

昭和56年(1981)3月31日指定

石鳩岡に伝承される神楽で、早池峰岳神楽の伝統ある弟子神楽です。文化2年(1805)、石鳩岡の菊池伝右衛門が早池峰岳神楽を伝授され、同志を募り舞道具一切を揃え、天保5年(1834)9月1日、早池峰岳流石鳩岡神楽を名乗り独立することを許されました。

現在は、上小山田駒形神社の例大祭をはじめ、大迫にある早池峰神社の例大祭や、盛岡藩南部家鎮守の桜山神社でも奉納神楽が行われています。

この神楽は衣装などが美しく華やかで、舞振



りは簡素の中にも上品さが見られます。また、随所に古い神事の名残を留め、山伏神楽の流れを受け継ぐ貴重なものとなっています。桜山神社で神楽が奉納されることから、南部家紋(向鶴紋)の使用を許されています。